

認知症

主催・企画 岐阜大学大学院医学系研究科
後援 岐阜県・岐阜県教育委員会
岐阜市・岐阜市教育委員会

毎年ご好評をいただいております岐阜大学医学市民講座の今年のテーマは「認知症」です。我が国は男性・女性ともに長寿世界一を達成し、超高齢化社会を迎えています。認知症は医学的・社会的に最も重要な課題の一つであり、その対応および対策が急務となっています。

認知症診療の第一線で活躍中であります本学医学部の講師三名が、本症を「診断」、「治療」と「ケア」の三つの視点からわかりやすく解説し、時間の許す限り皆様の疑問・質問にお答えいたします。今回の医学市民講座から認知症に対する理解を深めていただけましたら幸いです。多数の皆様の御参加をお待ちいたしております。

日時 平成20年10月5日(日)

会場 岐阜大学医学部記念会館
2階ホール(岐阜市柳戸1番1)

講師・講義案内 裏面参照

受講対象者 一般社会人

定員 150名

受講料 無料



申込方法

①メールでの申込方法

件名に「岐阜大学医学市民講座受講希望」、本文に氏名・電話番号を明記の上、igakubu@gifu-u.ac.jpへメールを送信下さい。後日、受講申込書(word)及びパンフレット(PDF)を返信しますので、受講申込書に必要事項を入力の上再度送信下さい。

②郵送での申込方法

直接下記申込先へ郵送して下さい。受講申込書は、医学系研究科・医学部総務係及び本学の各学部等にありますが、岐阜大学医学部ホームページ(<http://www.med.gifu-u.ac.jp/>)からも受講申込書をダウンロードできます。なお、受講申込書の入手が困難な場合は、氏名(ふりがな)、性別、現住所、電話番号、過去の受講歴、職業、年齢を記入したものを直接下記へ郵送下さい。なお、郵送される際は、返信用封筒(長型3号・80円切手貼付)を同封願います。

申込期間 7月28日(月)から9月30日(火)

- 申込みに関わる個人情報につきましては、講座実施のための資料として以外は使用いたしません。
- 定員になり次第、締め切らせていただきます。
- テキストは当日配布します。
- 受講された方には、修了証書をお渡します。
- 車でお越しの方は、病院の外来駐車場を御利用願います。

申込み
問合せ

〒501-1194 岐阜市柳戸1番1

岐阜大学医学系研究科・医学部 総務係

TEL 058-230-6051(直通)

<電話受付時間>9時から16時まで(土・日曜日・祝日を除く)



<講師・講義内容>

○13:30～13:35 開講式

○13:35～14:15 認知症の診断

医学系研究科
神経内科・老年学分野
教授 犬塚 貴
(いぬづか たかし)



認知症とは一旦発達した知的機能が、脳の細胞や組織が壊れたことによって、持続的に低下し、社会生活や日常生活に支障をきたした状態をいいます。現在、わが国でこの認知症の状態にある方は約200万人います。認知症を引き起こす病気の中で多いものは、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症などです。僅かながら治療して改善する認知症もあります。また、抑うつやせん妄など認知症と紛らわしい状態もあります。

講義では認知症とは何か、認知症と紛らわしい状態、認知症の診断法、認知症を疑う日常生活におけるポイント、認知症を引き起こす主な病気の特徴についてお話します。

○14:15～14:55 認知症の治療

医学部附属病院
精神神経科
講師 高田 知二
(たかた ともじ)



認知症をきたす疾患には、アルツハイマー病、前頭側頭葉萎縮症、レビー小体型認知症、血管性認知症などがあります。そして、認知症の症状には、それぞれの疾患の特徴を反映した中核症状と、患者さんが生活する中で困惑したり、周囲と齟齬をきたすことで生じる認知症の行動・心理症(BPSD)があります。実際には、両者が組み合わさることで様々な症状が出現することになります。

治療では、こういったことを整理し、患者さんやご家族に症状を理解してもらいながら対策を考えていく非薬物的治療が基本となり、その上で必要に応じてお薬を処方していきます。講座では、こういった認知症の治療のエッセンスをお話したいと思います。

○14:55～15:10 休憩

○15:10～15:50 **認知症のケア**

医学部看護学科
老年看護学分野
教授 **箕浦 とき子**
(みのうら ときこ)



高齢者人口の増加に伴い、認知症の高齢者が増加しています。時には人間関係を壊してしまうことから、本人だけでなく家族をも巻き込んで混乱してしまうケースが少なくありません。しかし、認知症の方の行動にはそれぞれの理由があるといわれています。また、周囲の人が高齢者のおかれている状況や行動の理由をどのように捉えているかによって、認知症の高齢者の気持ちが安定したりするのです。したがって、一人でも多くの方が認知症を理解することにより、このような混乱は避けられると思います。

そこで、「認知症高齢者をどう理解するか」という視点を中心に、認知症の高齢者に比較的多くみられる行動や具体的な対応方法についてお話しするとともに、活用できる介護サービスや後見人制度についてもお話ししたいと思います。

○15:50～16:20 **質疑応答・総合討議**

○16:20～16:30 **閉講式**